

おどろき、快適、仕事と暮らし

KING JIM

統合報告書 2025



経営理念

独創的な商品を開発し、 新たな文化の創造をもって社会に貢献する

行動指針

見つめよう市場 見なおそう慣行 見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、能力を生かせる職場環境を保たなければならない。待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に株主の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。社内のコンプライアンス体制を整備し、社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

イントロダクション

- 01 経営理念・行動指針
- 02 目次・編集方針
- 03 価値創造の歴史

価値創造ストーリー

- 04 社長メッセージ
- 08 価値創造プロセス

価値創造戦略

- 10 第11次中期経営計画の進捗

事業別戦略

- 11 文具事務用品事業
- 17 ライフスタイル用品事業
- 21 CFOメッセージ
- 23 座談会
次世代を担う社員が語る
キングジム“らしさ”

価値創造の基盤

- 27 マテリアリティ（重要課題）
- 28 環境への配慮
- 30 多様な人材の活躍推進
- 32 特集 産学学連携プロジェクト
- 33 ガバナンスの充実
- 36 役員一覧
- 38 社外取締役メッセージ

データ集

- 39 財務ハイライト
- 40 非財務ハイライト
- 41 11カ年サマリー
- 42 株式情報・会社情報

編集方針

本統合報告書は、株主・投資家をはじめとする当社と関わりのある皆様に向けて、第11次中期経営計画を中心とした価値創造の取り組み、および事業を通じたESG課題解決のための活動をご理解いただくことを目的に発行しています。編集にあたっては、経済産業省「価値協創ガイドダンス2.0」、国際統合報告評議会（IIRC）「国際統合報告フレームワーク」などを参考にしています。



報告対象組織

株式会社キングジムおよび連結子会社

報告対象期間

2025年6月期（2024年6月21日～2025年6月20日）
※上記期間前後の内容も一部含まれます。

ディスクレーマー

本統合報告書に記載されている事業見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。



価値創造の歴史

創業

ファイリング文化の創造

オフィスのスタンダードとして多くの方にご愛用いただいている「キングファイル」は、1964年に発売されました。色ごとに分類できる背表紙のスクエアマークや、書類の差し替えが容易なパイプ式金具を採用したことで、組織力が主流だった当時の日本に新たなファイリング文化を生み、厚型ファイルの草分けとして広く親しまれるようになりました。

「テプラ」でラベリング文化を切り拓く

1988年に発売されたラベルライター「テプラ」は、ファイルの背見出しを作成するために開発された商品です。手書きやワープロによる切り貼りが主流だった時代に、誰でもきれいに、すばやく印字できるツールとして登場し、オフィスにラベリング文化を根づかせました。現在ではオフィスだけでなく、家庭にまで活用が広がっています。

市場開拓型商品の開発と事業拡大

「テプラ」や書くことに特化したデジタルメモ「ポメラ」の開発、ステーションリーブランド「HITOTOKI」の立ち上げなどを通じて、多様なニーズに応える提案を続けてきました。商品開発において、使用シーンやターゲットを明確にすることで、従来の文具事務用品の枠を超え、新しい市場を生み出しています。

社会の変化に対応し、ライフスタイル領域に挑戦へ

衛生・健康用品や防災用品など、文具事務用品事業の中でも商品群の幅を広げる一方で、キッチン家電や雑貨、家具、アーティフィシャルフラワー、手袋など、暮らしに寄り添う商品を展開する企業をグループに迎え入れました。これにより、オフィスから家庭、さらにはライフスタイル全般へと事業領域を拡大し、グループ全体で進化を続けています。

1927

1970

1980

1990

2000

2001
東証二部
上場2005
東証一部
指定

2020

2022
東証プライム
移行

社会的背景

● 生活水準の向上

● 公害問題

● OA機器の普及
● 少子高齢化● リーマンショック
● 働き方改革

● SNSの普及

● 新型コロナウイルス
感染拡大

文具事務用品事業

1927年

創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売



1964年

「キングファイルG」発売



1976年

「クリアファイル」発売



1988年

ラベルライター「テプラ」発売



2008年

デジタルメモ「ポメラ」発売



2008年

防災用品「帰宅支援キット」発売



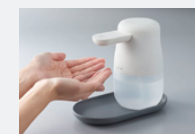
2017年

ステーションリーブランド「HITOTOKI」立ち上げ



2019年

アルコールディスペンサー「テッテ」発売



2025年

防災ブランド「KOKOBO」立ち上げ



当社は1927年の創業以来、時代の変化に適応しながら革新を重ね、多くの独創的な商品を通じて新たな文化を築いてきました。

2027年に創業100周年を迎える今も、これまでに培った歴史と経験を活かし、事業領域を文具事務用品からライフスタイル用品へと広げ、常に進化を続けていきます。キングジムはこれからも、時代の変化をチャンスと捉え、新たな価値を創造し続けます。

ライフスタイル用品事業

2001年

長島商事株式会社（現：株式会社ラドンナ）をグループ会社化



2008年

株式会社アスカ商會をグループ会社化



2014年

株式会社ぼん家具をグループ会社化



2020年

ウインセス株式会社をグループ会社化



2021年

ライフオンプロダクツ株式会社をグループ会社化

